

# オンライン朝会「3つの感染症」1/17

新型コロナウイルスの新たなオミクロン株によって、全国で感染が急激に増えてきています。皆さんは、校内でも三密を避け、マスクの着用や手洗いなど、きちんと感染防止をしています。しかし、今は、どんなに気を付けていても、いつ、どこで、誰が感染してもおかしくない状況です。

しかも、オミクロン株は、感染しても熱や咳などの風邪のような症状が出ないことが多いそうで、皆さんも、ますます、不安な気持ちが高まっているかも知れません。感染の不安から、これからは、念のためお休みして様子を見たり、PCR検査を受けたりする人も多くなるかも知れません。

そして、もしかすると、感染について、偏見や差別の気持ちをもってしまう恐れもあります。今日は、このあと、1年前にもご覧いただきましたが、映像を見ながら、なぜ不安や差別が生じるのか、不安を感じたらどうすればいいかなど、また一緒に考えたいと思います。今まで以上に、〈感染という病気〉とともに、〈不安〉や〈差別〉にかからないようにしていきたいですね。

## 新型コロナウイルス “差別・偏見をなくそう” プロジェクト 文部科学省



## 新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～ 日本赤十字社

新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！  
～負のスパイラルを断ち切るために～

新型コロナウイルスによる感染が流行しています。  
「3つの感染症」という顔があるのです。  
知らず知らずのうちに私たちは影響を受けていることをみなさんはご存知ですか？

3つの「感染症」はつながっている

第1の「感染症」は病気のものです  
このウイルスは、感染者との接触でうつることがわかっています。  
感染すると、風邪症状や重症化して肺炎を引き起こすことがあります。

第2の「感染症」は不安と恐れです  
このウイルスは見えませんが、ワチンや薬もまだ開発していません。  
わからないことが多いので、私たちは強い不安や恐れを感じ、ふりまわされてしまっています。  
それは私たちの心の中であらう、気づかぬが、弱くが、自分を守る力を弱め、瞬く間に人から人へ伝染していきます。

第3の「感染症」は嫌悪・偏見・差別です  
不安や恐れは人間の生き証ひよります本能を刺激します。  
そして、ウイルス感染にかかわる人や対象を日常生活から遠ざけたり、差別するなど、人々との信頼関係や社会のつながりが壊されてしまいます。

なぜ、嫌悪・偏見・差別が生まれるのか  
見えない敵（ウイルス）への不安  
特定の対象を見える敵と見なして嫌悪の対象とする  
嫌悪の対象を偏見・差別し遠ざけることでつづきの安心感が得られる

特定の個人・地域・職業などに対して「危険」なイメージをつたわったレッテルを貼る心理によって差別や偏見がおこります。

皆さんも、ウイルスに関する悪い情報はかき目をつけていたり、なにかからウイルスに結び付けて考えたりしていませんか？  
「あの人は...」「コロナなんじゃないか?」「あの国はコロナがうつっているからあんなものを買わないでね...」  
「熱があるのだから怖いから近づかないで...」  
このように思い、行動することから「感染症」は広がっていきます。  
これらの「感染症」を防ぐために、私たちはどのような工夫ができるでしょうか？